

第8回神奈川県水道事業広域連携調整会議 審議結果

議題 令和6年神奈川県水道ビジョンの取組の進捗状況

○議題について、資料1のとおり報告したところ、下記の意見があった。

議題に対する意見

事業者名	意見の概要	事務局回答
企業庁	○事務局においては、目標の達成に向けて、今後も適切に進捗管理をお願いしたい。	○来年度も引き続き、目標達成状況について共有させていただくとともに、4年ごとに、定期的に取り組を点検し、その結果を県のホームページで公表します。
相模原市	○進捗状況で示されている水道事業者は、県水道ビジョンの18ページにおける「現状分析・評価における圏域を構成する水道事業」の事業者であることを明らかにするため、18ページ下段の表を掲載していただくことを希望します。	○ご意見を踏まえ、資料1の1ページ目に事業者の表を追加いたします。 (別添資料参照)

議題 水道事業の基盤強化に向けた取組

○議題について、資料２のとおり報告したところ、下記の意見があった。

議題に対する意見

事業者名	意見の概要	事務局回答
企業庁	○水道メーターの共同発注に関して、業者へのヒアリングを行い、委託業者がメーターを調達・保管する方式について検討してみてはどうか。	○いただいたご意見は、水道メーターの共同発注の検討を進めていくにあたって参考とさせていただきます。
三浦市	○広域化推進プランには、水道ビジョンで県営水道への統合を将来的な理想像とする本市の意向を汲み、「将来的に経営の一元化や事業統合を行う可能性についても検討する」との記載が盛り込まれた。 ○しかし、広域化の相手方として想定される県営水道（県営水道等との施設の共同化に三浦市は参画し、水源を同じとしている）には、水道事業体としてのメリットがなく具体的な検討が進んでいないことから、具体的な検討スケジュールや会議体の設置等をプランに明示することが必要と考える。	○「神奈川県水道事業広域化推進プラン」は、県内水道事業者等の意見を調整したうえで策定しているため、内容の変更にあたっては水道事業者等の合意が必要です。 ○広域化について、水道事業者間で合意するにあたっては、まずは、経営安定化を図ることが必要となるため、県としても、三浦市のこれまでの取組の検証や今後の経営改善策の検討に協力するなど、積極的に支援していきたいと考えています。
開成町	○協議する内容に応じてブロック分け（同規模事業者による協議、エリア別による協議）が必要と感じた。 ○例えばメータ共同購入であれば、運搬距離等考慮するとエリア別がよいかもしれないし、システムであれば同規模事業者がよいかもしれない等。	○個別の検討にあたっては、協議内容に応じて、柔軟に対応していきます。